宇都宮市立横川中央小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「毎日朝食を食べている」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」、「毎日、同じくらいの時刻に起きている」の肯定的回答の割合は順に100%、89%、95.2%で全国の平均を上回った。各家庭の協力を仰ぎながら、これからも規則正しい生活の大切さを伝え、健康的な生活が送れるように指導していきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の肯定的回答は100%であった。いじめゼロ集会や日頃からの取組が児童の意識を高めているので、これからも継続していきたい。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的回答は96.3%で全国の平均を4.1ポイント上回った。またその中でも、「当てはまる」と回答した割合が76.8%と、全国の平均を21.5ポイント上回った。学校生活において、児童の頑張りやよさを積極的に認め、声をかけてきた成果だと考えられるため、今後も継続していきたい。

○ICT機器に関する質問に関しては、かなり活用できているという結果がであった。スライド作成や、スクールタクトの活用を学校でも積極的に実施することができていることと、児童が自ら進んでタブレット操作のスキルを高めている望ましい傾向にあるので、マナーを守って使用することができるように見守り、支援していきたい。

●「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の肯定的回答は75.6%と全国平均を2.5ポイント下回った。他者の意見にも耳を傾け、受容していくことで、自分の意見がさらに深まったり多角的に考えられたりするよさがあることを伝えることで、違いを受け入れられる児童の育成に努めたい。

●家庭学習に関する質問についての1日当たりの学習時間に関して2時間以上学習している児童が26.9%なのに対して、30分以下と答えた児童が18.3%であった。市で目安としている1日1時間が更に定着できるように宿題や家庭学習について学級活動の時間を中心に考えさせ、意識が高まるように指導していきたい。

●「国語の勉強は得意ですか」、「算数の勉強は得意ですか」、「理科の勉強は得意ですか」の肯定的回答の割合は順に64.7%、63.4%、83%であった。特に理科の学習に対しては苦手意識をもっておらず、意欲も高い様子がうかがえる。一方で国語や算数においては苦手意識をもっている児童が多い。特に算数は「当てはまらない」と回答した児童が20.7%であった。国語や算数の学習では、児童の理解度を確認しながら授業を進めたり、個別最適な学習ができる配慮をしたりするなどの支援をしていきたい。

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
各教科における基礎・基本の確実な定着	<ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方や発表の仕方、ノートの取り方など基本的な学習態度や学習機能を身に付けさせる指導。 ・一人一台端末の計画的・積極的・効果的な活用と工夫・改善。 ・朝の学習における漢字・言葉・計算学習の実施。 	国語・算数・理科のどの教科でも、正答率がすべての領域で全国平均を上回った。「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのIC機器を活用することについて、分からないことがあった時にすぐに調べることができる」の設問に対して全国平均を大きく上回った。
自分の思いや考えを表現できるような学習指導の工夫と改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学校課題「『見方・考え方』を働かせ、学び合う児童の育成」のための授業改善。 ・多様な考えに触れ、互いの良さを生かしながら協働して課題解決に取り組めるような学び合いの場の工夫。 	「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の設問に対して肯定的回答が全国平均を上回ったが、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」の設問では、肯定的回答が全国平均を若干下回った。
豊かな心を育む表現力の向上を目指す読書指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全校一斉読書の実施。(月、金曜日) ・チャレンジブックの実施。 ・読書週間の実施。(10月) ・読み聞かせボランティアを活用した読み聞かせの実施。(月1回通年) 	「読書は好きですか」の設問に対して、全国平均を大きく上回った。また、「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。」の設問に対して、「0～10冊」と答えた割合は県を下回り、「26～100冊」と回答した割合は最も高く、40.2%であった。